

学校法人：愛知産業大学

学 校：三河歯科衛生専門学校

課 程：医療専門課程

学 科：歯科衛生士科

学 習 大 要

(令和4年度)

3 年 次

- 学科目標
- 教科目(科目担当者)一覧
- 科目別授業計画表

学校法人：愛知産業大学

学 校：三河歯科衛生専門学校

課 程：医療専門課程

学 科：歯科衛生士科

学科目標

■学習目標

教育基本法の精神に則り、学校教育法及び歯科衛生士法に基づき歯科衛生士に必要な専門教育を施すとともに、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材の育成を目的とする。

1年次に学ぶこと

生体の正常像と病気、病気の予防・治療について学び、とくに歯・口腔について詳しく学ぶ。歯科予防処置、歯科診療補助などの実習により、歯科衛生士として必要な技術を身につける。また、社会人としての心構えを養い、マナーを身につける。

2年次に学ぶこと

前期には、臨床系の科目を学ぶとともに、介護実習、食育実習などを行う。後期から臨床実習が始まり、それまでに学んだ知識・技術を深めるとともに、社会人・医療人としての心・態度を学ぶ。

3年次に学ぶこと

前期まで臨床実習を行い、知識・技術とともに医療現場におけるチームワークなどを学ぶ。後期から教養科目、卒業研究、総合学習などを行って、知識の整理・まとめを行う。また、歯科衛生士国家試験、全員合格を目指して、集中学習を行う。

■取得目標資格

1. 歯科衛生士（厚生労働省）
2. NPO日本食育インストラクター（NPO日本食育インストラクター協会）

教育課程表

医療専門課程

(昼間部) 歯科衛生士科			
	教育内容	授業科目	単位数 (時間数)
基礎分野	科学的思考の基盤	生物学	2 (30)
		化学	2 (30)
	人間と生活	心理学	2 (30)
		社会学	2 (30)
		英語Ⅰ	1 (30)
		英語Ⅱ	1 (30)
		体育	1 (45)
小計		11 (225)	
専門基礎分野	人体 (歯・口腔を除く。) の構造と機能	解剖学	2 (30)
		組織・発生学	1 (15)
		生理学	2 (30)
	歯・口腔の機能と構造	歯牙解剖学	2 (30)
		摂食・嚥下 基礎実習	1 (45)
	疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	2 (30)
		微生物学 薬理学	2 (30)
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間との 社会の仕組み	衛生学・公衆衛生学	2 (30)
		口腔衛生学・歯科衛生統計	4 (60)
		社会福祉	2 (30)
小計		23 (375)	
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	2 (30)
	臨床歯科医学	歯科臨床概論	2 (30)
		保存修復学	1 (15)
		歯内療法学	1 (15)
		歯周療法学	2 (30)
		歯科補綴学	2 (30)
		矯正歯科学	2 (30)
		口腔外科学	2 (30)
	歯科予防処置論	歯科予防処置Ⅰ	3 (135)
		歯科予防処置Ⅱ	2 (90)
		小児歯科	2 (30)
		障害者歯科	1 (15)
		高齢者歯科 口腔ケア	1 (15)
	歯科保健指導論	歯科保健指導Ⅰ	1 (45)
		歯科保健指導Ⅱ	1 (45)
		歯科保健指導Ⅲ	1 (45)
		生化学	2 (30)
		栄養指導 食育実習	2 (90)
	歯科診療補助論	歯科診療補助Ⅰ	3 (135)
		歯科診療補助Ⅱ	1 (45)
		歯科材料	2 (30)
		看護法大意	1 (15)
		放射線	1 (15)
医療保険		1 (15)	
臨地実習 (臨床実習を含む。)	臨地実習	20 (900)	
	総合学習	3 (90)	
小計		65 (2040)	
選択必修分野	医学概論	1 (15)	
	マナー実務	1 (30)	
	ビジネスマナー	1 (30)	
	コンピュータ演習	1 (30)	
	人間関係論	1 (30)	
	教養科目	3 (45)	
	卒業研究	1 (30)	
	小計		9 (210)
合計		108 (2850)	

(単位換算の基準) 講義 15 時間をもって 1 単位とする。
 演習 30 時間をもって 1 単位とする。
 実技・実習 45 時間をもって 1 単位とする。

■教科目（科目担当者）一覧

科 目	学年	担 当 者	専任 非常勤
摂食・嚥下	3年	安藤 睦美	非常勤
口腔衛生学・歯科衛生統計	3年	新井 歌織、伊藤 恭子 塚本 敬子	非常勤
高齢者歯科	3年	高濱 豊	非常勤
口腔ケア	3年	藤井 広美	非常勤
歯科保健指導Ⅲ	3年	小池 美佳、小林 敦子	専任 非常勤
医学概論	3年	伊藤 不二男	非常勤
人間関係論	3年	森月 義雄	非常勤
教養科目（文章力講座）	3年	野々山 宏司	非常勤
教養科目（漢字学習）	3年	竹川 章子	非常勤
教養科目（心理カウンセリング）	3年	堀場 英里名	非常勤
卒業研究	3年	教務	専任
総合学習	3年	教務	専任
臨地実習	3年	臨床実習指導教員	非常勤

目 次

1. 摂食・嚥下
- 2～3. 口腔衛生学・歯科衛生統計
4. 高齢者歯科
5. 口腔ケア
- 6～7. 歯科保健指導Ⅲ
8. 医学概論
9. 人間関係論
10. 教養科目（文章力講座）
11. 教養科目（漢字学習）
12. 教養科目（心理カウンセリング）
13. 総合学習

■科目別授業計画表

科目名	摂食・嚥下	授業形態	講義
担当講師名	安藤 睦美		
科目内容	摂食・嚥下を理解し、歯科衛生士として摂食・嚥下リハビリテーションが実践できるよう、知識・技術を習得する。		
到達目標	摂食・嚥下を理解したうえで、摂食・嚥下リハビリテーションが実践できる。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>2</u> 回で 4 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	高齢者歯科 第2版 (最新歯科衛生士教本) 医歯薬出版		
参考図書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション (医歯薬出版)		
授業内容	<p>1回目：摂食・嚥下総論</p> <p>-----</p> <p>2回目： " 各論</p> <p>-----</p> <p>3回目：摂食・嚥下リハビリテーション総論</p> <p>-----</p> <p>4回目： "</p> <p>-----</p> <p>5回目： " 各論</p> <p>-----</p> <p>6回目：嚥下調整食総論</p> <p>-----</p> <p>7回目：小児・障害児の摂食・嚥下リハビリテーション</p> <p>-----</p> <p>8回目： "</p> <p>-----</p> <p> 回目：</p> <p>-----</p> <p> 回目：</p> <p>-----</p> <p> 回目：</p> <p>-----</p> <p> 回目：</p> <p>-----</p> <p> 回目：</p> <p>-----</p> <p> 回目：</p> <p>-----</p> <p> 回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価 (100%)		

■科目別授業計画表

科目名	口腔衛生学・歯科衛生統計	授業形態	講義
担当講師名	新井 歌織、伊藤 恭子、塚本 敬子		
科目内容	口腔の疾病を予防し、さらに口腔の健康の保持増進を達成するため、個人にとどまらない地域社会を含めた幅広い場で応用する科学と技術を、口腔衛生学では勉強する。前半には、卒業研究を行うための衛生統計学の基本について勉強する。		
到達目標	予防の概念と基本的知識の習得を目標とする。		
授業時間	総時間数 60 時間 [90分授業を、週 1,2 回で 23週実施 総授業回数 30]		
単位数	4 単位		
使用教材	保健生態学 第2版 (最新歯科衛生士教本) 医歯薬出版 保健情報統計学 (最新歯科衛生士教本) 医歯薬出版		
参考文献	新予防歯科学 (医歯薬出版)、口腔衛生学 (一世出版)		
授業内容	<p>1回目：疫学</p> <p>-----</p> <p>2回目：う蝕の指数</p> <p>-----</p> <p>3回目：歯周疾患の指数</p> <p>-----</p> <p>4回目：口腔清掃の指数 歯のフッ素症の指数</p> <p>-----</p> <p>5回目：歯科疾患の疫学情報 既成資料</p> <p>-----</p> <p>6回目：歯科疾患の疫学的特徴</p> <p>-----</p> <p>7回目：代表値 散布度 相関</p> <p>-----</p> <p>8回目：検定</p> <p>-----</p> <p>9回目：口腔衛生の意義 口腔の健康</p> <p>-----</p> <p>10回目： ”</p> <p>-----</p> <p>11回目：歯の健康</p> <p>-----</p> <p>12回目： ”</p> <p>-----</p> <p>13回目：歯・口腔の付着物・沈着物</p> <p>-----</p> <p>14回目： ”</p> <p>-----</p> <p>15回目：う蝕</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価 (100%)		

■科目別授業計画表

授 業 内 容

16回目：う蝕

17回目：フッ化物の基礎知識

18回目： //

19回目：フッ化物応用による齲蝕予防方法

20回目： //

21回目：歯周疾患の予防

22回目：う蝕・歯周疾患の予防段階

23回目：ライフステージごとの口腔保健管理

24回目：地域歯科保健・公衆歯科衛生

25回目：母子歯科保健

26回目：学校歯科保健

27回目： //

28回目：成人・産業歯科保健

29回目：老人歯科保健

30回目：精神歯科保健、国際歯科保健、災害時歯科保健

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

■科目別授業計画表

科目名	高齢者歯科	授業形態	講義
担当講師名	高濱 豊		
科目内容	超高齢社会となり、高齢者に対する歯科診療の重要性が増したため、歯科医師のみならず、歯科衛生士の役割も重要となりました。そこで、高齢者の特徴、歯科診療、歯科保健指導を学習し、要介護者や在宅高齢者も含めて歯科診療補助、口腔管理指導の実際面を習得します。		
到達目標	高齢者の特性、特徴・治療法を理解する。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	高齢者歯科 第2版 (最新歯科衛生士教本) 医歯薬出版		
参考図書	老年歯科医学用語辞典 (日本老年歯科医学会 編)		
授業内容	<p>1回目：高齢者を取りまく社会と環境</p> <p>-----</p> <p>2回目：加齢による身体的・精神的変化と疾患</p> <p>-----</p> <p>3回目：高齢者の状態の把握</p> <p>-----</p> <p>4回目：口腔のケア</p> <p>-----</p> <p>5回目：口腔のケア、摂食・嚥下リハビリテーション</p> <p>-----</p> <p>6回目：摂食・嚥下リハビリテーション</p> <p>-----</p> <p>7回目：高齢者に関わる医療と介護</p> <p>-----</p> <p>8回目：高齢者歯科における歯科衛生過程</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価 (100%)		

■科目別授業計画表

科目名	口腔ケア	授業形態	講義・実習
担当教員名	藤井 広美		
科目内容	口腔の持つあらゆる働き（摂食、咀嚼、嚥下、構音、審美性、唾液の分泌など）を健全に維持するために口腔ケアの意義・口腔機能評価法・手法を学び、口腔機能管理能力を習得する。		
到達目標	高齢者介護施設・訪問歯科等における口腔衛生及び口腔機能管理を実施するために、必要な知識と技術を総合し身に付ける。		
授業時間	総時間数 30 時間 [90分授業を、週 1-2 回で 6週実施 総授業回数 11]		
単位数	1 単位		
使用教材	高齢者歯科 第2版（最新歯科衛生士教本）医歯薬出版		
参考図書	口をまもる 生命をまもる 基礎から学ぶ口腔ケア 第2版（Gakken） 歯科衛生士のための口腔介護実践マニュアル（メディカ出版）		
使用機器	吸引機能付き介護用歯ブラシ パルスオキシメーター 聴診器 血圧計 介護用ベッド 車いす ヘッドライト 口腔ケアグッズ一式		
授業内容	<p>1回目：Ⅳ編 口腔のケア（基礎知識・基礎技術）1章 高齢者の口腔のケア 2章 有病高齢者への口腔ケア</p> <p>2回目：口腔ケア時の留意点 口腔ケア用品・器材 口腔のケアアセスメント票</p> <p>3回目：口腔ケア実習① ベッドサイドにおける口腔のケア（摂食・嚥下障害患者への対応）</p> <p>4回目： " 車椅子サイドにおける口腔のケア（認知症患者への対応）</p> <p>5回目：口腔アセスメント演習 口腔機能評価の方法（RSST・オーラルディアドコキネシス）</p> <p>6回目： " " SOAP方式の記録への展開</p> <p>7回目：Ⅳ編 口腔のケア 3章 要介護高齢者への口腔ケア</p> <p>8回目：高齢者介護施設実習に向けて（実習目標の設定・実習要点の事前学習）</p> <p>9回目：口腔ケア実習② 口腔粘膜ケアの手法 痂皮体験（患者疑似体験）</p> <p>10回目： " " 症例別改良歯ブラシ作製・発表</p> <p>11回目：Ⅴ編 摂食・嚥下リハビリテーション 2章 摂食・嚥下の評価と対応</p> <p>12回目： 3章 誤嚥性肺炎の予防のための訓練 間接訓練・直接訓練・食事支援</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	歯科保健指導Ⅲ	授業形態	講義・実習
担当教員名	小池 美佳、小林 敦子		
科目内容	ライフステージごとの口腔保健管理の理論を学び、演習を通じて個々の患者に適したプログラムを作成することなど、継続した口腔保健管理の実践力を身につける。		
到達目標	各ライフステージの一般的特徴・口腔の特徴を理解し、対象者が実践できるような具体的な方法・技法を習得する。 各ライフステージの歯科保健指導を実施することができる。		
授業時間	総時間数 <u>45</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 23 週実施 総授業回数 23]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	歯科予防処置論・歯科保健指導論 (最新歯科衛生士教本) 口腔保健管理 (最新歯科衛生士教本) ビジュアル版 介護予防5 口腔ケアのアクティビティー		
参考図書	歯科衛生士試験対策ポイントチェック5 歯科衛生ケアプロセス(医歯薬出版)		
授業内容	<p>1回目：7章 小集団指導法 (高齢者の口腔機能トレーニング)</p> <p>2回目： //</p> <p>3回目： //</p> <p>4回目： //</p> <p>5回目： //</p> <p>6回目： //</p> <p>7回目： //</p> <p>8回目： //</p> <p>9回目： 小集団指導法 (幼稚園まとめ)</p> <p>10回目： 小集団指導法 (小学校まとめ)</p> <p>11回目： 食生活指導</p> <p>12回目： //</p> <p>13回目： ライフステージにおける歯科衛生介入について</p> <p>14回目： // (妊産婦)</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価 (100%)		

科目別授業計画表

授 業 内 容

15回目：	〃	(乳幼児)
16回目：	〃	(学童期)
17回目：	〃	(思春期)
18回目：	〃	(成人期)
19回目：	〃	(高齢者)
20回目：	〃	(心身障害者)
21回目：	歯科衛生過程	まとめ
22回目：	〃	
23回目：	〃	
24回目：	〃	

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

回目：

■科目別授業計画表

科目名	医学概論	授業形態	講義
担当講師名	伊藤 不二男		
科目内容	医療技術が進歩するとともに新たな社会問題、生命倫理の問題が発生する。本講義ではこれらの問題についての意見を賛成、反対を含めて多面的に解説する。		
到達目標	生命倫理の問題について理解し、自分の意見をわかりやすく表現することができる。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	プリント資料を配布		
授業内容	<p>1回目：インフォームドコンセント</p> <p>-----</p> <p>2回目：医学実験、臨床検査</p> <p>-----</p> <p>3回目：医療資源の配分</p> <p>-----</p> <p>4回目：尊厳死、安楽死</p> <p>-----</p> <p>5回目：障害を持つ新生児の治療</p> <p>-----</p> <p>6回目：出生前診断</p> <p>-----</p> <p>7回目：代理母出産</p> <p>-----</p> <p>8回目：多胎減数手術</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p> <p>回目：</p> <p>-----</p>		
評価方法基準	講義中のレポートで評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	人間関係論	授業形態	演習
担当講師名	森月 義雄		
科目内容	人間の社会生活を一人で生きてゆくことはできません。人と共に生きる共同相互存在です。人を動かし人に動かされている自分。一人の自分にもいろいろな自分がある。自分の事はよく知っているつもりでも他者からの評価に戸惑うこともしばしばです。個人と集団の関係は人間において永遠の課題でもあります。人間行動、思考、感情の在り方など様々な観点から学んでゆきます。実生活に役立て心身共に健康な毎を送りたいものです。		
到達目標	日常生活の中で経験する集団心理と個人心理との相違の理解		
授業時間	総時間数 30 時間 [90分授業を、週 1 回で 15週実施 総授業回数 15]		
単位数	2 単位		
使用教材	カラー版徹底図解 社会心理学 (新星出版社)		
授業内容	<p>1回目：はじめに 人間関係論について</p> <p>2回目：社会心理学</p> <p>3回目：歴史的な実験（1）</p> <p>4回目：歴史的な実験（2）</p> <p>5回目：社会の中の個人（1）</p> <p>6回目：社会の中の個人（2）</p> <p>7回目：対人認知と行動（1）</p> <p>8回目：対人認知と行動（2）</p> <p>9回目：集団の中の人間（1）</p> <p>10回目：集団の中の人間（2）</p> <p>11回目：文化と人間の心理</p> <p>12回目：社会現象・社会問題の心理（1）</p> <p>13回目：社会現象・社会問題の心理（2）</p> <p>14回目：自己と共存社会</p> <p>15回目：まとめ</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	教養科目（文章力講座）	授業形態	講義
担当講師名	野々山 宏司		
科目内容	歯科衛生士はまとまった文章を書く機会は少ないが、社会人として身につけたい文章力の基礎・基本を実践的に学ぶ。		
到達目標	文章技法を習得し、分かりやすい文章を書くことができる。		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	自作テキスト「文章力講座」		
授業内容	<p>1回目： 1. 文章力の基礎 (1) 文章の土台</p> <p>2回目： (2) 文の組み立て</p> <p>3回目： (3) 短詩型文学に学ぶ</p> <p>4回目： (4) 文章の構成</p> <p>5回目： (5) メールの基本</p> <p>6回目： 2. 演習 (1) 手紙文</p> <p>7回目： (2) 散文</p> <p>8回目： (3) 論文</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	レポートで評価（100%）		

■科目別授業計画表

科目名	教養科目（漢字学習）	授業形態	講義
担当講師名	竹川 章子		
科目内容	①取得を目指す級の教材で、繰り返し練習問題に取り組むことにより、 日本漢字能力検定協会の検定で合格できる力を身につける。 ②社会生活で必要となる常用漢字（国家試験頻出漢字も含む）を正しく読んだり 書いたりできるようにする。		
到達目標	総合問題で、毎回70%以上正答できる。		
授業時間	総時間数 16 時間 [90分授業を、週 1 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	1 単位		
使用教材	分野別漢検でる順問題集 2～3 級以上 （旺文社）		
参考図書	四字熟語辞典		
授業内容	1 回目：自宅学習（範囲、出る順A）の確認テスト ----- 2 回目：夏休み課題（でる順B、C予想問題）の確認テスト ----- 3 回目：過去問 2 種 ----- 4 回目： " " ----- 5 回目： " " ----- 6 回目： " " ----- 7 回目： " (本番の様式で取り組む) ----- 8 回目： " (") ----- 回目： ----- 回目： ----- 回目： ----- 回目： ----- 回目： ----- 回目：		
評価方法基準	①検定で3級は160点以上、準2級及び2級は140点以上を優とする。（検定優先） ②校内試験は得点率3級で9割、準2級で8割、2級で7割を優とする。		

■科目別授業計画表

科目名	教養科目（心理カウンセリング）	授業形態	講義
担当講師名	堀場 英里名		
科目内容	<p>自分の夢や目標に向かって社会人としてスタートを切るためには、自己を分析して、「今の自分の強みと弱み」を冷静に把握することが重要です。</p> <p>この授業では、自分自身を見つめなおし、いざという時に正しい判断ができる人となれるよう学習します。</p>		
到達目標	<p>歯科衛生士として患者さんの気持ちに寄り添うことができるよう、まず自分自身の理解を深めることを目標とします。</p>		
授業時間	総時間数 <u>16</u> 時間 [90分授業を、週 <u>1</u> 回で 8 週実施 総授業回数 8]		
単位数	<u>1</u> 単位		
使用教材	プリント資料配布		
参考図書	授業の中で適宜紹介		
授業内容	<p>1回目：自分の脳のタイプを知る</p> <p>2回目：コアバリュー（生れもったもの）を知る</p> <p>3回目：ミッドバリュー（積み上げるもの）を学ぶ</p> <p>4回目：キーバリュー（目的 価値観）を確認する</p> <p>5回目：強みと弱みを学ぶ</p> <p>6回目：自らをブランディングする</p> <p>7回目：外的価値を知る</p> <p>8回目：チームオペレーションを組み立てる</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p> <p>回目：</p>		
評価方法基準	筆記試験で評価（100%）		

